



令和8年度 外野小学校グランドデザイン

本県教育の目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
郷土を愛し 協しあう心を育てる

<学校教育目標>

**豊かな心で 自ら学び、
たくましく生きる児童の育成**

「市立学校運営方針2026」

自ら考え行動しより良い社会の創造に
貢献できる市民の育成
～こどもを主語とした
自由で楽しい学び場づくり～

目指す学校像

- 人を大切にする温かい学校
- 笑顔と感動がある楽しい学校
- 一人一人がよさを発揮し、主体的に活動する学校

目指す児童像

- 進んで学ぶ子(自ら考え行動)
- 思いやりのある子(人を大切にする)
- 元気な子(たくましく健やか)

目指す教師像

- 児童に寄り添い、一人一人を大切に
する教師
- 人間性豊かで、常に学び続ける教師
- 明るく活気に満ち、他者と協働できる教師

学校スローガン

笑顔あふれる、児童が主役の魅力ある学校づくり

今年度の重点目標 (組織目標)

**自ら考え、選択・決定し、行動できる児童の育成
自己肯定感・自己有用感を育む教育活動の推進**

確かな学力の育成

—学びの当事者意識の醸成—

- ◇ ねらいを明確にした40分授業の実施
・何を学ぶのか、何を学んだのかが分かる授業づくり(まとめと振り返りの重視)
- ◇ 問いの発見と解決に重点を置く探究的な学びの充実
・他者対話、協働しながら学ぶ場の設定
・多様な考え方に触れ、納得解を見いだす
- ◇ 個々の発達段階や教育的ニーズに応じた学びの充実
- ◇ 学びのスタイル改革
個別最適・自由進度・反転学習の実施
- ◇ 家庭学習の工夫改善
・見通しや目標をもって自律的に学び、行動できる自己調整力の育成

<目標値>

- ◇「授業に主体的に取り組んでいる」 80%
- ◇「授業がよくわかる」 80%

豊かな人間性・社会性 —他者と共によりよく生きるための基盤づくり—

- ◇ 互いのよさを認め合い、自分のよさを発揮できる学級づくり
「寄り添い・励まし・共に伸びていく」
- ◇ 児童主体の特別活動の充実
・自発的、自治的な学級活動・児童会活動
・合意形成、意見表明のトレーニング
- ◇ 「考え、議論する」道徳授業の充実
・全学級授業公開 ・ローテーション授業
- ◇ 道徳的実践力を培う体験活動の充実
- ◇ 全教育活動を通した人権意識の高揚
「人を大切にする」
- ◇ 教科担任制、学年担任制による多角的な視点による児童理解と支援の充実

<目標値>

- ◇「学校が楽しい」 80%
- ◇「みんなで何かをするのは楽しい」 85%
- ◇「自分のよいところを分かっている」 80%

意欲的な生活態度を養う

—心とからだの健康づくり—

- ◇ 体力の向上を目指した教育活動の充実
・運動量の確保と多様な運動経験
- ◇ 健康教育の充実と自己管理能力の育成
・「早寝早起き朝ごはん」の推進
- ◇ 発達段階に応じた安全教育の実施
・危機への予測と回避能力の向上
・「自分の命は自分で守る」意識の徹底
- ◇ 食に関する指導の充実
- ◇ ロング昼休みの効果的な活用
- ◇ SOSを出しやすい環境づくり
・相談体制の充実と連携の強化
・信頼関係の構築と雰囲気づくり
・SOSの出し方に関する教育の推進
- ◇ 自尊感情を高めるプログラムの実施

<目標値>

- ◇進んで運動をしている 80%
- ◇体力テスト A+B 50%

児童の目線に立った教育活動の実施・評価・検証・改善「PDCAサイクルの確立」

<地域とともにある学校づくり>

- 地域の教育力を生かした体験活動の充実
平和学習・福祉体験・ふるさと体験・検定・キャリア探検ラリー
- 学校活動支援ボランティアの活性化
- 保幼小中連携・接続の推進
- 教育活動の情報収集・発信

<豊かな人間性と指導力のある教職員の育成>

- 教員評価・研修履歴を活用した資質・能力の向上
- 「サキドリ」による職員研修時間の確保・活性化
- 教職員の同僚性を生かした学校運営への参画意識の高揚
- 服務規律の徹底 「不祥事0」の達成
- 働き方改革の推進 ワークライフバランスの重視

<安心・安全な教育環境づくり>

- 多様性を尊重した学級経営の推進
- いじめ・体罰防止の徹底 「命と人権を守る」
- 「居場所づくり」と「絆づくり」 “新規不登校0”
- 特別支援教育の充実 ～ユニバーサルデザイン
の視点による授業・環境づくり～
- 教育相談の充実と児童理解の深化